



福州市の夕焼け (中央: 博物館)

その後、車で羅源県へ移動、事故で高速道路に2時間の足止めを食うアクシデントがありながらも夕方には羅源県へ到着し、早々に何県長を訪問しました。

羅源県は、福建省の東沿海部に位置し、農水産業や建材・機械などの工業を主体とする人口25万5千人の日本でいう「市」です。旧北有馬町で平成8年から交流が行われ、平成9年には友好交流展開協議書が締結され、相互訪問や小学生のホームステイなどが行われてきました。

会談では、互いに旧北有馬町と羅源県とのこれまでの交流を評価した上で、今後の南島原市との新たな関係構築、友好交流展開について協議を行い、松島市長と何県長の間で「友好交流意向書」が取り交わされました。

### 『羅源県』って どんなところ？

羅源県は福州市に属し、福建省の東沿海部に位置しています。総人口は25万5千人、面積は1,187平方キロで、日本の町・村に当たる6つの鎮、5つの郷、192の村を管轄しています。

福建省はお茶の生産地の一つで、七境堂という緑茶は朝貢品として取り扱われていました。農産品は米、山芋、椎茸、花き、柿、梨など、海産品は車エビ、貝、牡蠣(かき)などがあり、水稲・野菜の栽培、畜産がバランスよく行われています。

工業では、建材、機械、製紙、たばこ、食品、塩、電子、服飾、紡績などがあり、伝統工芸として、石彫りや竹細工などがあります。

1988年に国務院から沿海部の経済開放県の許可を受け、羅源湾には外国船籍の貨物船も入港します。また、全国科学技術による海を起こすモデル基地として省クラスの羅源湾経済技術開発区が建設されており、海峡西岸经济区建設戦略に基づいて、港湾工業県を目標に開発が進んでいます。



**訪中を終えて**

数年ぶりの訪中でしたが、至る所が急ピッチで開発・近代化が進み、発展のエネルギーや人々のパワーに圧倒された5日間でした。

そのような中、初めて訪れた福建省では、福州市の陳副市長、羅源県の何県長はじめ多くの方々に大変な歓迎をいただき、あらためて本市に対する期待の大きさも認識いたしました。

羅源県も、経済技術開発区に指定され、「港湾都市」を目指し開発が進む活力と活気に満ち溢れたところでした。今年北有馬町で友好交流が交わされてから10年という節目の年にあたりです。

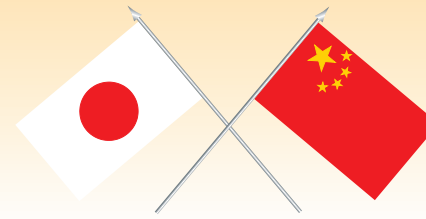
**その節目の年に、あらためて交流に対する意見を交わし、友好交流意向書を取り交わすことができたことは、大変意義深いことだと感じています。**

今後は意向書に基づいた交流を通じ、羅源県の活力や人々の活力が、必ずや本市発展に大きな力を与えてくれるものと期待を寄せているところであります。

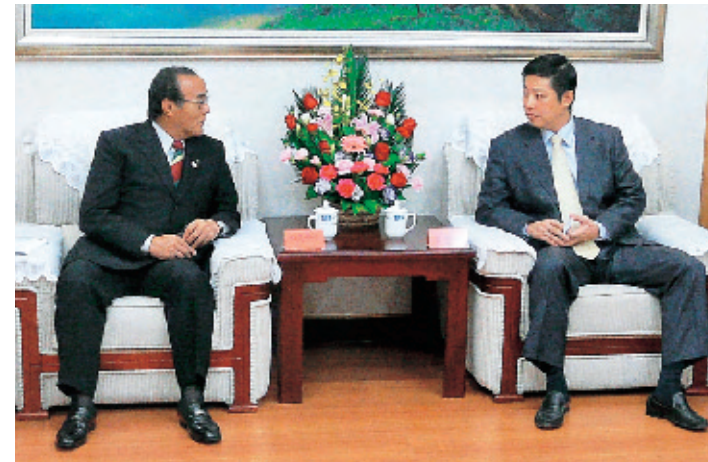
これからは、北有馬町で培われてきた友好の絆をベースに、双方の発展を目指す率直で飾らない交流を進めていきたいと思います。

南島原市長  
松島 世佳

## 日本国 長崎県南島原市



## 中華人民共和国 福建省羅源県



松島市長と会談する、陳福州市長

### 中国福建省羅源県と 友好交流推進意向書を締結

新市発足以前の旧北有馬町時代から交流が続いている、『中華人民共和国福建省羅源県』。今回松島市長は11月12日から16日まで中国を訪問し、福建省羅源県と今後の交流継続を確認し、友好交流推進意向書を締結しました。

今回の訪中は、長崎県と福建省の友好関係締結25周年と日中国交正常化35周年を記念した長崎県の訪中団に参加したものです。羅源県の何県長から訪中団参加と羅源県訪問について、事前に熱い誘いがあり、招待に応じたものです。

12日と13日は長崎県の訪中団と行程を共にし、12日には上海市長を、13日には福建省の省都である福州市に移動し、福建省長を敬訪問しました。14日以降は訪中団を離れ、福州市と羅源県を訪問しました。

日本における「国↓県↓市」の関係は、中国では「国↓省↓市↓県」となります。省は「州」に当たるもので、現在日本にはありませんが、福州市が日本という「県」、羅源県は福州市に属する日本というところの「市」に当たります。

14日、松島市長は、まず福州市を訪問し陳為民副市長と会談、今後の南島原市と羅源県との交流について更に発展を目指すという一致した意見が交わされ、陳副市長は最大のバックアップを約束しました。

### 旧北有馬町における中国福建省羅源県との交流実績

- 平成8年4月 羅源県長他3名が北有馬町を訪問し、意見交換、農業施設などの視察を実施。
- 平成8年7月 北有馬町長、農業後継者青年など9名が羅源県を訪問。意見交換のほか、各種施設を視察。
- 平成9年11月 日中国交正常化25周年、長崎福建友好関係省締結15周年記念長崎県福建省友好親善訪問事業で商工会関係者、郷土芸能継承者ら17名が羅源県を訪問。「北有馬町と羅源県の友好交流展開協議書」を締結。
- 平成10年8月 羅源県長他7名が北有馬町を訪問。
- 平成11年11月 北有馬町長、一般公募で応募があった住民など11名が羅源県を訪問。
- 平成13年8月 羅源県副県長他3名が北有馬町を訪問。
- 平成14年7～8月 北有馬町内の小学校児童等15名が羅源県を訪問。ホームステイ、学校訪問での交流。
- 平成18年3月 合併後の交流について、引き続き継続することを書面により確認。
- 平成19年11月 「南島原市と羅源県の友好交流意向書」を締結。



羅源湾では地元テレビ局も取材



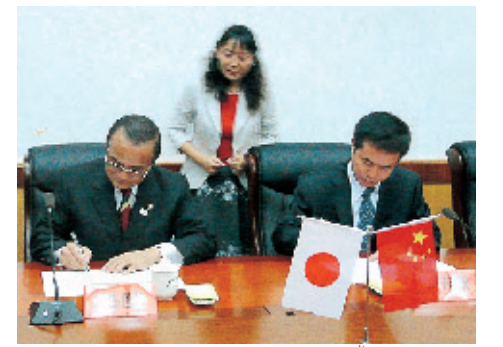
福州市建設計画模型



福州市の公園で陳副市長・職員と



金子長崎県知事と福州市西禅寺にて



意向書(下)に署名する松島市長と何県長

